



▲MR17を使う孫さんにもアタリがきた
▼孫さんのMRには美しい竹仕様デザイン(オプション)の特別塗装



MS165



MR17

★渾身の力を込めて合わせ、スタンディングアークバスMRが見事なまでに曲がり込む



★大物釣り師、金本俊哉さんのテクニック、スタンディングアークバスだからこそこの一本

大物釣りの宝庫、沖縄北方海域 狙うはモンスターカンパチ 剛樹スタンディングアークバス 大物専用MS/MRの 驚異的パワー

●大物釣りファンに絶大な信頼を受けているロッドメーカー「剛樹」から「スタンディングアークバスMS/MR」がリリースされた。大物釣りのベテラン金本俊哉以下3名が、お披露目として釣行したのが沖縄県北方海域。50キロを超えるモンスターカンパチが潜む大物ファンあこがれの釣り場である。

★意外!? と思えるほどのビックサイズだった

▲船長も金本さんのビックファイトをたのびました。チームワークの勝利でもあった



▲釣り場の水深は200~250メートル前後、オモリは250号を使用



▲今回の釣行ではエサ釣りに苦労した

▶ハリス60~80号3メートル、ハリスはGT30号を使用
▼ムロアジは大きいほどいいという



「MS、MRにはまだまだもの足りないサイズです」と弦巻さん。以後も途切れることなくアタリは続くが、エサ切れとなった昼過ぎに納竿。沖縄北方海域のポテンシャルを垣間見、スタンディングアークバスのパワーと実力を知るには十分な釣行となった。



▲弦巻さんの力強いファイト (MS165)
▼宮崎さんにも12キロがきて、早くもオデコなし
▼今回の2番目の大きさとなる16キロ級



この1本を機に、カンパチにスイッチが入った。同じくMS165を使う弦巻海謙さんは強引とも思えるヤリトリで15キロ級をタモに入れる。トモではMR17を持つ孫紀軍さんがひと回り大型の16キロを釣り上げた。金本さんがスタンディングアークバスを実釣で使用するのは初めて。

「マジックバイト(前作)より軽くて細身になってるけど、パワーは確実にアップしてるね」と絶賛しつつ、今度はMSより硬めのMRにチェンジ。次の目標はさらなる大型、50キロ以上のモンスターである。

潮回りしての2流し目、マジックバイトを使い、バラシのみだった宮崎正人さんにもようやくアタリ。同じく15キロ級を海面に浮かせ、これで全員ホウズなしたとなった。以後は流すたび、だれかしらにドストスンとアタるものの、金本さんを含め上がってくるのは10~15キロ級。これでも大物釣りとしては十分なはずだが、

「ウーン、それほど大きくはないよ」沖縄本島から数時間かけて着いた先は水深200~250メートル前後のポイント。釣り開始から30分、金本俊哉さんが持つ「スタンディングアークバス」MS165が突然大きく曲がった。これまで数え切れないほどのカンパチを釣っている金本さんがそう言うのだから、メンバーはもちろん、船長でさえ過度の期待はしていなかった。時おりは強い引き込みがきて穂先が海面に突き刺さる。ここで主導権を奪われると、相手のいいなり。金本さんはいなすように竿を操作し、ロッドパワーを生かして引きをためる。

200メートル近いヤリトリがそれほど緊張感を与えなかったのは、金本さんの余裕の表情にもあったろう。ところが海面下に現れた魚体を見てだれもが目を見張った。「デカイ! デカイぞ!」

優に1メートルを超える赤茶色の魚体が海面に浮く。すかさず船長がギヤフを打ち、船内に引きずり込んだ。「20キロ以上はあるなあ」と金本さんが謙遜する。ジロリと笑顔で返す船長。検量の結果は……34キロ! 船長と金本さんが握手して健闘をたたえあう。沖縄まで来て大物釣りにチャレンジするのは、スタンディングアークバスで最低でも20キロ以上のカンパチを仕留めるため。あっさりという目的は達成されたのである。



◎2本目以降は
余裕のヤリトリ



◎オモリが着底したら5メー
トル巻き上げる、この間にエ
サが暴れ出したらチャンス!



▲剛樹オリジナルのムロ
アジサビキ
▼金本さんの使用リール
は「マクセルレイジーブ
プロト」。道糸はPE10～
12号400メートル以上



◎絃巻さんはこの
サイズを数本釣っ
ていた



新・進・機・鋭

★今回は剛樹から発売された大物釣り専用竿「スタンディングアーバス」を取り上げた。実釣の舞台は沖縄県の北方海域、詳しいレポートと製品解説は20ページからの連載「新・進・機・鋭」にて。



竿の曲がり具合を見る

MS

スタンディングアーバスMS/MR



▲穂先は意外に柔軟
▶超大物にもびくともしないブランクス

剛樹から新しく発売された大型青物専用竿が「スタンディングアーバス」。RR (2種)、LR (2種)、SR (4種)、MS (3種)、MR (3種)と用途や狙うサイズなど実に14アイテムを有す。従来の「マジックバイト」に比べて粘りと感度が20パーセント以上アップし、自重も20～30グラム軽量化。今回は南方遠征に向くMSとMRを持参した。



MR



▲バット&リールシートはジュラルミン素材の
一体成型で強度を確保



ひと回り強靱なプロトタイプ
T3(仮称)も持参